

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公表番号】特表2007-519086(P2007-519086A)

【公表日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-026

【出願番号】特願2006-540102(P2006-540102)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 4 0 Z

G 0 6 F 17/30 4 1 9 A

G 0 6 F 17/30 3 3 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月26日(2007.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データソースにおけるキーワード検索操作の際のデータ提示を行う方法であって、前記データソースと前記データソースのプレビアスビューとの、グラフィカル表現を構築するステップと、

前記グラフィカル表現内において、前記検索キーワードの場所を表す、前記グラフィカル表現内のノードである義務的エンティティを識別するステップであって、ステップと、前記プレビアスビューから得られたコンテキスト・データを用いて得られる1つまたは複数のコンテキスト・エンティティと、前記義務的エンティティとを含むデータ構造の構築を、前記検索キーワードに対応して行うステップと、

前記データ構造を前記キーワード検索操作の結果として提示するステップと、
を含み、

前記コンテキスト・データは、

前記コンテキスト・エンティティの前記義務的エンティティに対する関連性の尺度を表すために評価されるデータと、

前記プレビアスビューにおける前記グラフィカル表現内のエンティティの生成および同時生成頻度を示す数値データと、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

少なくとも1つの前記データソースが、階層的であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の各ステップをコンピュータに実現させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項4】

請求項3に記載のコンピュータプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータが読み取可能な記憶媒体。

【請求項5】

データソースにおけるキーワード検索操作の際のデータの提示を行う装置であって、
前記データソースと前記データソースのプレビアスビューとの、グラフィカル表現を構築するモジュールと、

前記グラフィカル表現内において、1つまたは複数の前記検索キーワードの場所を表す
、前記グラフィカル表現内のノードである義務的エンティティを識別するモジュールと、
前記プレビアスビューから得られたコンテキスト・データを用いて得られる1つまたは
複数のコンテキスト・エンティティと、前記義務的エンティティとを含むデータ構造の構築を行うモジュールと、

前記データ構造を前記キーワード検索操作の結果として提示するモジュールと、
を含み、

前記コンテキスト・データは、

前記コンテキスト・エンティティの前記義務的エンティティに対する関連性の尺度を表示するために評価されるデータと、

前記プレビアスビューにおける前記グラフィカル表現内のエンティティの生成および同時生成頻度を示す数値データと、

を含むことを特徴とする装置。